

< 目次 >

- 1 【読書推進】中高生の読書推進(2) ～「ビブリオバトル」しませんか？～
  - 2 【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録
  - 3 【編集後記】あつしのひとりごと
- 

★ 教育振興運動イメージソング「Hand In Hand」を聴くことができます。

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/HANDINHAND.html>

★ 「Hand In Hand」の二部合唱譜“改訂版”をダウンロードできます。

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/24handinhandgassyou.pdf>

---

- 1 【読書推進】中高生の読書推進(2) ～「ビブリオバトル」しませんか？～

2006年の直木賞受賞後、作品の映像化が相次ぐミステリー作家。「ナミヤ雑貨屋の奇蹟」で今年の中央公論文芸賞を受賞した作家。読売新聞による「読書に関する世論調査」では、昨年に引き続き人気作家第1位の東野圭吾さん。

実は、高校時代に読書の楽しさを知ったとのこと。それまで“大の読書嫌い”だった東野少年は、姉の持っていた松本清張さんの本を読み始めたところ、面白くてやめられなくなったそうです。1冊の本との出会いが、人生に大きな影響を与えることがあります。今の人気作家の原点がここにあります。

今、ゲーム感覚を取り入れた「ビブリオバトル」が、大学や高校の教育現場で広まっています。「ビブリオバトル」とは、“読ませたい本のPR対決”をおこない、投票により“読ませたい本ナンバーワン”を決めるもので、考案した立命館大学の谷口准教授は、その特徴を「“人を通して本を知る”と同時に“本を通して人を知る”こと」と言っています。

自分のお気に入りの本を、「本と出合ったきっかけやキーワード、お薦めのポイント」などを織り込みながら、5分間でプレゼンテーションし、観客の多数決で決定します。5分間より短いと、ただのあらすじ紹介に終始してしまい、読んだ本人の考えや表現力のパフォーマンスを欠いてしまうことから、カウントタイマーを意識しながら、5分間で“読ませたい本のPR”をおこないます。

小中学校の場合は3分間でプレゼンテーション（「ミニ・ビブリオバトル」と言います）を行うのもよいと思います。自分のお薦めの本を持ち寄って、班内予選会を行い、自分以外の班員のお薦め本（読みたくなった本）を多数決で決め、さらに班代表によるクラス決勝大会をおこなってみてはいかがでしょうか。

クラス全員の投票による「ビブリオバトル」決勝大会で、毎月または数カ月ごとに「第〇回 〇組のお薦め本（読みたくなかった本）大賞」を決定することで、クラスの読書活動の推進、読書意欲の向上につながっていくと思います。ゲーム感覚で楽しみながら本と出会う・・・「ビブリオバトル」しませんか？

★「ビブリオバトル」はこちら ⇒ <http://www.bibliobattle.jp/>

---

## 2 【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録

(教ちゃん) 振ちゃん、11月9日で読書週間が終わってしまったけど、どんな本を読んだの？

(振ちゃん) 11月2日に発売になった「ONE PIECE」の68巻をね。おもしろくて、3回も読んじゃったよ！

(教ちゃん) えー、買ったの？ 今度、貸して～！・・・じゃないでしょ。マンガじゃなくて“本”は読んだの？

(振ちゃん) うんとね。「ワンピースの言葉が教えてくれること（ルフィと仲間たちに学ぶ「生き方」の教科書）」と「ルフィの言葉」・・・。

(教ちゃん) 「ONE PIECE」ばかりじゃない。でも、2冊も本を読んだ振ちゃんは、偉いっ！読書週間が、本を読むきっかけになったのね。

(振ちゃん) そうなのだ。振ちゃんは偉いのだ～！

(教ちゃん) 読書週間の盛り上がりそのまま、地域をあげた取組を続けていきたいわね。「花巻市こども読書くらぶ」のように、図書館では通年の取組がおこなわれているし、教育振興運動の全県共通課題だし。

★「花巻市こども読書くらぶ」はこちら

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/24hanamakidokukura.pdf>

(振ちゃん) “家庭学習”と“読書活動”を、学校が家庭や地域との協働で取り組む「まなびフェスト」に位置づけていれば、学校・家庭・地域は取り組んでいるわけだし、子ども自身も当事者として取り組んでいる。それを、行政が地域全体のものとして後方支援にあたれば、同じ目標に5者が取り組む「教育振興運動」だよな。

(教ちゃん) そうね。それは、学校の取組でもあり、「教育振興運動」の取組でもあるのよね。大切なのは、みんなで一緒にやろうと話し合い、それぞれが課題解決の当事者意識を持つことだと思うの。

(振ちゃん) 「なんとかしなくちゃ」という当事者意識がないと、学校から言われたことでしかなく、「先生が言ったでしょ！」と学校に教育の責任を押し付けてしまう。それでは、いつまでたっても、自分が子どもの教育に責任を持つ「教育振興運動」に取り組んでいるという意識は育たず、教育力の向上にもつながらないよね。

(教ちゃん) いい事言うわね。振ちゃん。

(振ちゃん) 振ちゃん、偉い？

(教ちゃん) はいはい・・・。

(振ちゃん) ルフィー、僕も“勇敢なる海の戦士”になるぞ～！

---

### 3 【編集後記】 あつしのひとりごと

毎朝、通勤電車で盛岡聴覚支援学校に通う高校生と一緒にになります。カタコトの手話でお話をするようになり、矢巾駅で下車する彼女を「行ってらっしゃい」と見送るのが日課となっています。

会話の中で、11月3日（土）に文化祭「盛輝祭」があることが話題となり、早速、遊びに行ってきました。体育館では、幼稚部から高等部までのステージ発表があり、劇や手話による歌、合奏、ダンス・パフォーマンス等がおこなわれました。

特に中等部や高等部の発表は、自分たちの大震災津波の被災支援活動の様子や自分たちが感じたことを織り込んでの発表で、感動しました。中等部は支援にあたった大槌町にある蓬莱島をモデルにした「ひよっこりひょうたん島」の歌を「泣くのは嫌だ。笑っちゃお！進め〜！」と手話で歌い、合奏しました。

この「ひよっこりひょうたん島」の合奏で、“全国聾学校合奏コンクール”に出場するとのこと。大槌町の様子とともに「泣くのは嫌だ。笑っちゃお！進め〜！」と岩手の元気を紹介してくれることと思います。

高等部は、楽しいダンス・パフォーマンスの後、復興支援ソング「花は咲く」を手話で歌い、被災した方々を応援するとともに“自分の花（夢）”を咲かせる決意を発表してくれました。

保護者、先生方、地域の方に見守られた素敵なステージ及び作品展示の発表にほっこりした気持ちになって帰路につきました。

---

★メルマガの感想や日頃思っていること、意見・要望をお寄せください。

感想・意見・要望はこちら。 ⇒ [21kyoushin@gmail.com](mailto:21kyoushin@gmail.com)

⇒ 第81号は、11月27日（火）配信です。

★バックナンバー（第1～79号）はこちら。

⇒ [http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/merumaga\\_backnumber.html](http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/merumaga_backnumber.html)

★全県共通課題（家庭学習と読書推進）の実践事例はこちら。

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/zenkenjirei.html>

★メルマガで紹介しました資料はこちら。

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/shoukaijirei.html>

〜〜〜配信元〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

\*岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課

\*発行人：教育振興運動担当 佐藤敦士（さとう あつし）

転送はご自由です。どんどん転送してください。ロコミは、あなたから始まります。「みんなでやろう！」という雰囲気あなたから作りだしてください。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜